

取扱説明書

DAYTONA corp.

R76091①/③

*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。

*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。

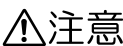
*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

DMC ADJ クラッチレバー	適応車種	商品NO.
	'04XL ALL モデル	76091 ダブルアルマイト 76093 クロームメッキ

■ご使用前に必ず、ご確認ください■

※取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

 警告	要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
 注意	要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

 実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	 禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
 その他	その他の警告及び注意を告げるものです。		

警告

 禁止	・この商品は重要保安部品となります。指定認定工場にて取り付けをしてください。 ・この商品は、記載されている適合車種以外の車輛には使用しないでください。 ・走行中にレバー位置の変更をしないでください。 ・レバー位置を変更した場合、必ず2～3回握りレバーが正常に動くことを確認してください。（アジャスト位置が中途半端な所で止まった場合、握った際に大きくレバー位置が変わり、大変危険です。）
---	--

注意

 実施	・作業に入る前に必ず安全を確保した上で作業を行ってください。 ・取り付けは確実に行ってください。また、走行中にネジ部等が緩まないよう、トルクレンチを使って所定トルクで確実に締め付けてください。尚、記載されていない取り付け部においてはサービスマニュアルを参考にしてください。 ・走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所の点検を行ってください。 ・取り付け後、100km 走行しましたら、各部を点検してネジ部の増し締めを行ってください。その後は500km 毎に必ず点検し、同様の増し締めを行ってください。
 その他	・この商品は、予告無しに価格や仕様の変更をする場合があります。また、文中に御紹介した商品についても同様です。予めご了承ください。

本商品の特徴

- ワンタッチでレバー位置の変更が出来るアジャスタブルレバー。
- アルミ削り出しで装着時に高級感が上がります。
- 純正レバーと取り替えるだけの簡単装着。
- ブラック×シルバーのダブルアルマイト仕上げとクロームメッキ仕上げをラインナップ。

商品内容

NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量
①	アジャスタブルクラッチレバー本体		1

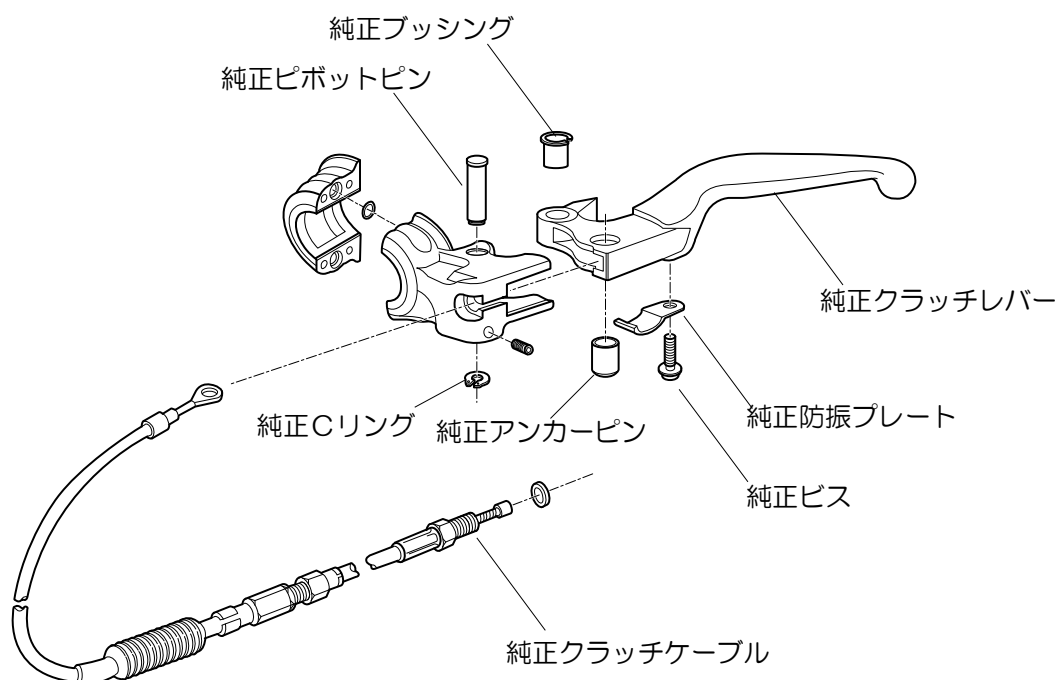
商取付手順

1. クラッチケーブルの中間アジャストを縮めて、クラッチケーブルの張りを緩くします。
2. Cリングプライヤーを使い、純正Cリングを外して純正ピボットピンを抜きます。
3. 純正クラッチレバーを純正ブラケットから外します。
4. 純正アンカーピンを純正クラッチレバーから抜き、クラッチケーブルを純正クラッチレバーから外します。
5. 純正クラッチレバー裏側から純正ビスを外して、純正防振プレートを外します。

⚠注意

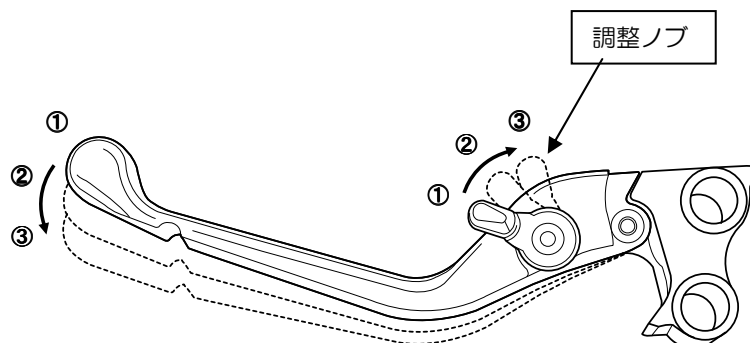
純正ビスは舐めやすいため、外す際にはドライバーではなく、1 / 4インチの六角ソケットを使う事をお勧め致します。

6. 当社クラッチレバーに純正防振プレートを純正ビスで取り付けます。
7. 当社クラッチレバーに純正ブッシングを移植します。
8. 当社クラッチレバーに純正アンカーピンを使ってクラッチケーブルを取り付けます。
9. 純正レバーを外したのとは逆の手順で本商品を純正ブラケットに取り付けてください。(純正ピボットピンに薄くグリスを塗ってください。)
10. クラッチケーブルの中間アジャスターでクラッチの切れを調整してください。



操作方法

1. 下図で示す①の位置が初期設定となり、純正クラッチレバーとほぼ同等の位置となります。
2. ①から②⇒③と調整ノブを動かすと、レバー本体は約5mm ずつグリップ側に近づきます。



※イラストと実物の形状が若干、異なりますが調整方法は同様です。

【アジャスト機能に関する注意事項】

※取り付けが完了したら**エンジンを掛けない状態**でお好みの位置にレバーを調整してください。

※レバー位置を変えた際にはクラッチが切れる位置が前と変わっていないか、**必ず停まった状態で**確認してください。

※クラッチの切れる位置を変更したい場合には、クラッチケーブルの中間アジャスターで調整してください。

※中間アジャスターの調整範囲ではお好みの位置でクラッチが切れない場合は純正サービスマニュアルに従ってダービーカバーを開けて、細かいクラッチ調整を行ってください。（お近くのハーレーディーラーに持ち込む事をおすすめします）

※レバー位置が変わったら、**必ず走行前に必ず2～3回クラッチを握って**違和感が無いか確かめてください。